

Question & Answer

口腔ケアの疑問とVAP(人工呼吸器関連肺炎)について

今回は、日常的に口腔ケアを担当している看護師さんに、口腔ケアの疑問点や困りごとに関してアンケートを行い、その結果をQ&A方式に回答します。

疑問点を解決し、口腔ケアスキルを向上させていきましょう。

また、人工呼吸管理をしている患者さんのVAP(人工呼吸器関連肺炎)を予防するためにも口腔ケアは重要な管理とされています。

Q:口腔内で特に汚染されやすい部位はありますか？



A:あります。歯牙の歯頸部(歯の根元)や歯間部に歯垢が付着しやすいです。また経口摂取出来ない患者さんは歯牙に加え、口腔乾燥のため粘膜に痂皮や剥離上皮膜が付着します。特に口蓋や舌は汚染しやすい部位です。

Q:開口困難な患者さんの対応方法を教えてください。

K-point



A:まずは患者さんがリラックス出来るように声掛けし、口腔周囲や口唇から徐々に口腔内を触れていきます。それでも開口困難な場合は、オトガイ部を下方に押して、開口したタイミングでバイトブロックを挿入します。または臼後三角内側にある『K-point』を刺激し、開口したタイミングでバイトブロックを挿入します。

Q:意識レベルの悪い患者さんや誤嚥のリスクのある患者さんの口腔ケアについて教えてください。



A:汚染物を誤嚥させない事が最も重要です。口腔ケア時は水を使用せず、口腔用保湿剤で口腔内を湿潤させてからケアを行います。口腔内では歯ブラシやスポンジブラシ等は奥から手前に操作するように心がけましょう。

VAPとは人工呼吸器関連肺炎のことで人工呼吸器開始後48時間以降に生じる肺炎と定義されています。気管挿管時は口腔内で細菌が繁殖しやすい状況にあります。気管チューブや気切チューブによって上気道がバイパスされるため細菌が下気道に侵入しVAPを発症しやすくなってしまいます。

予防方法は何といっても**口腔ケア**です！ 歯科衛生士さんと協力して口腔内環境を整えVAPを予防していきましょう。

【編集後記】

上記以外にも口腔ケアに関する疑問や困り事がありましたら、歯科衛生士まで気軽にお声掛けください。静脈栄養管理もしくは経腸栄養管理の患者さんの口腔ケアも大切です。

NST委員会 山口(HCU)、源間(3B)、三井(歯科口腔外科)